



事業所通信No.197

特定非営利活動法人はちくりうす
東京都目黒区鷹番3-14-9
Tel : 03-3793-3012
Fax : 03-5856-6700
E-mail : office@8curious.or.jp
https://www.facebook.com/8curious
編集担当：真野幸子

**知的障害者ガイドヘルプの
資格が取れるガイド講習です!**

今年度最後の開催です



前回は好評だった知的障害者移動支援従業者養成研修IN TOKYO (通称：ガイドヘルパー講習、ガイヘル講習) が、ついに次回で今年度最後の開催となります。この資格を取ると、知的障害のある方と一緒に外出ができるようになります。はちくりうすの講習では1月15日・22日・29日 (全て日曜日) の3日間必ず出席していただくことが条件となります。また遅刻も厳禁なのでお気をつけて! ご興味のある方ぜひご参加ください。定員は15名となっておりますので、お早めにお申し込みくださいね。どんな講義なんだろう? というお問い合わせもいつでも受け付けております!

かくいう私もこの資格から今の仕事をスタートしました。懐かしい。ちょっと思い出話にお付き合いください(笑) 前職の関係で下北沢を歩いていたとき、たまたま目にしたはちくりうすのヘルパー募集広告。その中にあった「障害福祉」という文字。「福祉? 高齢者じゃなくて? 障害福祉って何だろう?」そこが私の原点でした。

それからすぐにはちくりうすに電話をし、「資格が3日間で取れるんですか!? 取ります取ります」なんてお気やかな会話を挟みつつ、気が付けば数年経っていました。(その後、介護職員初任者研修も取得しました)

私は別の事業所でガイヘル資格を取りましたが、未だに覚えていることがあります。それは「『障害』とは何だと思いますか? 一言で表してみてください」という質問。1人ずつ発表していき、私は「『障害』とは『壁』だと思います」と書きました。その『壁』を壊せるのがこのガイヘル資格なんじゃないかなーと今でも思います。

今までなかなか関わることのなかった障害のある方たちかもしれません。これを機に一緒に知ってみませんか? 私はこの資格を取っていろいろな方と知り合うことができ、いろいろな経験をさせていただきました。自分だけでは行くことがない場所にも一緒に行き、笑い、ときには口喧嘩もしつつ(笑)、以前より自分の世界が広がったと感じています。

少しでも興味のある方、ぜひご参加ください(^)お待ちしております!

(真野)



↑講習申し込みフォーム

月例会のお知らせ

日時：1月13日(金) 10:00~12:00

場所：事務所 or Zoom

テーマ：情報共有



【2022年度】東京都指定事業者番号【第2種知字0046】知的障害者移動支援従業者養成研修課程 (通学形式)

知的障害者 移動支援従業者 養成研修 IN TOKYO

2023年
1月15日 9:30 ~ 17:25
22日 9:30 ~ 17:50
29日 10:00 ~ 17:45

この資格を取得すると、東京都内で、身体障害者の方のお出掛けを支援する仕事に就くことができます。お出掛け先は、買い物やジム、美術館や遊園地など様々で、自分の空いている時間を活用して働くことができます。私たち はちくりうす は、**学生さん、フリーター、ダブルワークの方も大歓迎!!** 楽しく一緒に外出できるなかで、障害当事者の活動範囲を広げ、人と人とのつながりのなかで世界を広げていく大切な仕事です。ぜひチャレンジしてみませんか!

私たち はちくりうす は、「誰もがありのまゝに自分らしく、ともに地域で生きられる社会」を目指して、日々活動しています。

2023年
1月15日・22日・29日

会場 目黒区心身障害者センターあいアイ館(視聴覚室・言語訓練室) 費用 4,000円 (テキスト代別) 定員 15名
東京都目黒区八雲1-1-8

主催:特定非営利活動法人 はちくりうす 後援:目黒区
申し込み・問い合わせ 〒152-0004 目黒区鷹番3丁目14番9号
TEL:03-3793-3012 / Mail:office@8curious.or.jp
WEBで「はちくりうす」で「検索」! (Facebook ページもあります)
※受講料に際して、受講開始日当日に健康診断等で本人確認をさせていただきます。

12/8(木)知的障害のある人の自立生活を考える会ONLINEサロン 「ヒビノクラシの自立生活支援 制度で支え制度の外で遊ぶ」

偶数月開催の知的障害のある人の自立生活を考える会(以下考える会)のONLINEサロンも今回で8回目。今回は私がぜひ話を聞きたいとお願いして「ヒビノクラシ舎」の児玉雄大さんと市川彩さんにご登壇いただきました。元々福祉とはまったく違った分野で活躍されていた児玉さんが障害者支援に関わることになったルーツはインディーズカルチャーだった?!というイントロから「制度による支援」に対する両義的な思いを語られ、それは対人関係に著しく困難さを抱えるAさんと、性自認が違っている知的障害のあるBさんとの出会いがきっかけで制度による支援の限界を感じ、現行制度の〈改良〉と自由な活動〈オルタナティブ〉の相補的な取り組みの実験場として「富士見台カフェ」を作られたというものでした。

児玉さんのお話は哲学的な部分もあり詳細にお伝えできませんが、「主権」を前提としない支援関係・人間関係や、主格二元論の主体とは異なる新たな主体(集散的協働的主体?)を模索されていくという想いは、当事者との関わりがともに学び育つという活動から始まった私にはとても響くものでした。

市川さんはご自身の弟さんが重度心身障害の当事者で小さいころから身近な存在として育たれ、性的マイノリティーの友人や様々な人と出会う中で、実はご自身もヤングケアラーとしての部分もあり、自分探しの旅のような経験をされる中で児玉さんと出会い、本当に救われたというお話が印象的でした。お二人の人の関わりに対する想い、そのために自己と向き合うことの大切さをあらためて感じられて、とてもよい会でした。

コロナの閉塞感をくぐる中で、人はもっと語り合う場を持たなければいけないと痛感します。ぜひ考える会のONLINEサロンやFacebookグループにご参加いただき、たくさんの方と知り合い、つながり、語り合いたい！ぜひみなさん行動しましょう！（櫻原）

インタビューコーナー



今回は今年から介護専門職員になったアイコさんにインタビューしました。

ー今年を振り返ってこんなことあったなーと気楽に話したら良いなと思ってます。1年間やって仕事で楽しかったことありますか？

アイコさん：お出掛けです。散歩で新しい場所に行くときはいろいろなことが学べて楽しかったです。新しい利用者さんの場合も、いろいろなやり方やいろいろなことを学びました。

ー今年職員になって、去年よりたくさん新しい利用者さんに入ってもらいました。

アイコさん：楽しかったです。面白いと思いました。

ー楽しんでもらえていて良かったです。

印象的な利用者さんはいましたか？

アイコさん：特にないかなー…あ、テンションが上がっているときはちょっと大変でした。でもみんなじゃないし、そういうときは仕事なので集中して気を付けています。利用者さん家族とも会話を通していろいろなことを教えてもらいました。手が空いているときは、自分のことを伝えたりして、面白いなと思いました。

ーたしかに、利用者さんと利用者さん家族との会話ってありますよね。改めて聞いてみると、そういう点が他の仕事と少し違って面白さがあるのかなと思います。話題を少し変えて、気分転換や趣味を教えてください。

アイコさん：散歩です。

ー散歩！趣味でも散歩なんです(笑)

アイコさん：あとは絵を描いたり、音楽を聴いたり、パソコンでオンライン映画を観たりします。映画館はお金がかかるので(笑)家で良いかなーと思

ます(笑)

ーあの絵すごく上手で綺麗でした。元々勉強していたんですか？

アイコさん：やっていたけど独学です。ーえ～！すごい！それであんなに綺麗な絵が描けるんですか！？

アイコさん：フィリピンの大学的时候はデザインを学びたかったけど、ホテルや旅行の勉強をしていました。

ーアイコさん服装もお洒落ですよ～。持ってる物もかわいくて、すごく良いなと思って見てます！

それでは来年に向けて一言だけですか？

アイコさん：もっと頑張ります！

ー(笑)

アイコさん：これからも頑張ります！はちくりうすでより多くの経験と学びをしたいです。

ー最後にとっても良い言葉をありがとうございました！

編集後記

アイコさんのインタビューいかがでしたでしょうか？実はまだまだ半分ぐらい(笑)なので来月以降どこかでまた載せられたらと思ってます。お楽しみに！そして年の瀬ですね。今年は1年どんな年でしたか？みなさん一言で言えないぐらいいろいろあったかもしれませんね。それもまた人生！？

そして今回のプレゼントはおせちのミニチュア！先着2名様！みなさま良いお年をお迎えください(^_^)

